



枝光橋

●鉄道橋では現存最古の
タイドアーチ橋(1930年)

枝光橋は、超重量物を輸送する列車が、鹿兒島本線、旧西鉄電車、市街地を高架で越えるために、スパンが長くなる箇所に当時としては先進的な構造であるタイドアーチを採用しました。鉄道橋では現存最古のタイドアーチ橋(1930年)となります。現在はLNGハイプラインの架台として使用されています。



くろがね線
宮田山トンネル

くろがね線は、八幡・戸畑西地区を結ぶ約6kmの専用鉄道として建設されました。八幡側はルネッサンス風、戸畑側はローマの古い城壁をデザインしています。



高炉台公園

昭和26年、東田高炉群を望む熊本山が公園化されたもので、設立当時は煉瓦作りの溶鉱炉模型が設置され、高炉上部からは炎と煙が上がっていました。又、高炉の周りには彫刻家橋谷清太郎氏製作のプロンズ像が配置されていました。現在は旧八幡製鐵所の高炉(溶鉱炉)を模した展望台モニュメントが設置されています。



写真提供:日本製鉄(株)九州製鐵所

官営八幡製鐵所
旧日本事務所

(一般には非公開)
《平成27年(2015)世界文化遺産登録》

製鐵所創業2年前の明治32年(1899)に竣工。赤レンガに日本瓦の屋根をもつ和洋折衷の様式で、内部には長官室や外国人顧問技師室などがあり、製鐵所の中枢を担いました。



官営八幡製鐵所
大谷プール跡

昭和初期、推進された福利厚生施設跡の一環として、国産生産と結びつく体力・体位その向上を図る事を目的に、昭和9年当時は珍しいプールが建設されました。戦後まもない昭和23年第3回国体水泳大会がここで開かれました。



大谷貯水池上池跡

明治時代、粗鋼と言われる1トンの鉄を造るのに水150トンが必要であったため、大谷地区に貯水池を2か所作ったうち、上段にあった貯水池が大谷貯水池上池と言われました。



官営八幡製鐵所の
殉職者を慰霊する碑

製鐵所で殉職した死者を弔う為、大正5年より殉職者招魂祭が行われました。大正10年以降は起業祭の日に大谷地区に建設され、弔魂碑前で行われるようになりました。

※このマップは、八幡製鐵所史家の協力により作成されています。
掲載写真(一部)とキャプション提供/八幡製鐵所史家



ゴール時は
ノベルティの
引換えを
忘れずに!



日本事務所
眺望スペース

スペース
ワールド駅前

スタート・ゴール
THE OUTLETS KITAKYUSHU
【開設時間】~16:00



救護 AED

【開設時間】~16:00

商店街まるごとエイドステーション



枝光本町商店街

【開設時間】
11:30~14:00

北九州市に現存する最大級の木造アーケードで、雰囲気あるゾーンと路並店から構成される商店街です。血山健康ウオーク推進の日曜特別市で皆様をお待ちしています。※詳細は裏面をご覧ください。



大限重信感謝状
(芳賀種義翁之碑)

八幡村長だった芳賀種義は34歳の時に官営八幡製鐵所誘致に奮闘しました。種義は製鐵所誘致のために私財のほとんどを使い果たして尽力しました。八幡市制40周年の昭和32年(1957)に、戦災復興による公園事業の一環として開園した八幡東区にある高炉台公園に大限重信の感謝状が刻まれた鉄塔と共に「芳賀種義翁之碑」が建てられました。



東丸山町東公園
防空壕入口跡

この防空壕は太平洋戦争当時の八幡市職員用に掘られた防空壕で、全長約150m、幅及び高さは2.4mあったと言われています。入口4箇所の内、現在残っているのは東丸山町東公園西側入口と八幡東区役所公用車駐車場入口の2箇所です。なお、両方もも入口は塞がれています。

中央二丁目公園
大谷貯水池下池跡(九州鉄道大蔵線土手)

明治時代、粗鋼と言われる1トンの鉄を造るのに水150トンが必要であったため、大谷を通る九州鉄道大蔵線の土手を利用して貯水池を造りました。

